

2004年11月15日

「プロ野球・チーム存続を訴える会」
代表 新熊 康助 様

ご 回 答

オリックス野球クラブ株式会社
広 報 部

貴殿からの質問書に対し、以下のとおりご回答いたします。

<1>「パリーグ全体でも慢性的な赤字経営が続いており、ご存知のとおり、我々両球団も多額の赤字を抱えています。特に関西地区ではセリーグのタイガースにマスコミ、ファンの注目が集まり、我々は長年常に厳しい状況におかれています。そんな中、グループのリストラを進めている近鉄と収益の伸び悩むオリックスの二つがひとつになり、関西においてセのタイガースに対するパの対抗球団となって魅力あるチームに育てて収益構造を高めていこうと、自然に話が進んでいきました。」

<2>「合併の詳細な経緯については、2球団間の問題であり、公表しないのが通例でございますので、公表は差し控えさせて頂きたいと考えます。」

<3>「両チームが統合することで、ファンの底辺が拡大し、両チームのファンの皆様に愛されるチームができます。また、そのようになるよう最大限の努力を致します。」

<4>「選手の実力、チーム構成などを総合的に判断し、勝つチームにするためのメンバーを選びました。」

<5>「球団職員・スタッフの旧所属先によって、待遇に差がでるような事実はありません。」

今後とも、プロ野球およびオリックス・バファローズに暖かい声援をいただきますようお願いいたします。

以 上

